

(様式2)

# 農業の新しい技術

No. 715(平成30年5月)

分類コード 01-09

熊本県農林水産部

## カンキツ新品種「熊本 EC12」の特性

農業研究センター 果樹研究所常緑果樹研究室  
担当者：三原崇史

### 研究のねらい

本県における温州ミカン、これまで県育成オリジナル品種によるリレー出荷体制を構築してきたが、中晩柑においては、不知火類、甘夏を中心に多くの品種が栽培されているものの、需要の多い12月に成熟し出荷できる品種が加温栽培の不知火類および「みはや」等以外に無く、生産者からの要望も大きい。また、12月から出荷可能な中晩柑の育成は、バラエティに富んだカンキツ産地として、熊本のイメージアップを図るとともに、労力配分の面からも農家経営に寄与するものと期待できる。

このため、12月に成熟し出荷できる高品質で食味が良く、栽培しやすい早生カンキツの育成が必要である。

### 研究の成果

#### ※＜来歴＞

「熊本 EC12」は、熊本県農業研究センター果樹研究所において、平成17年に種子親「はれひめ」に花粉親「はるみ」を交配し、育成した交雑種である。

#### ＜特徴＞

1. 樹姿は開張性で、樹勢はやや強く、葉はやや大きく、新梢長、節間長はやや長い。トゲは強い夏芽等で中程度発生する(表1)。
2. 果実の大きさは250g程度、果形は扁球形で玉揃いが良い。着色は10月中旬に始まり、12月中旬に完全着色となり黄橙色を呈するが、その後も着色は進み、赤橙色を呈する。果面は非常に滑らかで剥皮性は中である(表2)。
3. 12月中旬には糖度12以上、クエン酸は1%以下となり、じょうのう膜は薄く、果肉も軟らかいため、食味が良好である。種子は入りにくい(表3)。
4. クラッキングやこはん症等の果皮障害はほとんど発生しない(表3)。

以上のことから、「熊本 EC12」は、外観が良好な上、糖度が高く、さらにじょうのう膜が薄く、果肉も軟らかいため食味は良好であり、年内に出荷可能な早生カンキツとして期待できる。

### 普及上の留意点

1. 果樹研究所における高接ぎ4、5年目の結果である。
2. 「熊本 EC12」は、カンキツ栽培地域で栽培が可能であり、温暖で日照条件が良く排水良好な園に適する。
3. かいよう病に罹病するため、防除が必要である。また、周囲に甘夏等の花粉が多いカンキツがあると種子が入ることがあるため、植栽場所に注意する。

[具体的データ]

熊本県農林水産部

表1 「熊本EC12」の葉と枝梢の形態 (2015～2016年の2ヵ年平均)

| 品種名    | 樹姿 | 樹勢  | 春葉          |             |                           | 春梢         |             | とげの<br>多少 |
|--------|----|-----|-------------|-------------|---------------------------|------------|-------------|-----------|
|        |    |     | 葉身長<br>(cm) | 葉身幅<br>(cm) | 葉面積<br>(cm <sup>2</sup> ) | 長さ<br>(cm) | 節間長<br>(cm) |           |
| 熊本EC12 | 開帳 | やや強 | 8.7         | 3.9         | 22.4                      | 12.9       | 1.8         | 中         |

注) 2015年：11月12日調査、2016年：10月20日調査

表2 「熊本EC12」の果実形態および外観 (2015～2016年の2ヵ年平均)

| 品種名    | 果実<br>の形 | 果径<br>指数 | 果皮<br>の色 | 果皮色  |      | 果面の<br>粗滑 | 剥皮の<br>難易 |
|--------|----------|----------|----------|------|------|-----------|-----------|
|        |          |          |          | a値   | a/b値 |           |           |
| 熊本EC12 | 扁球       | 118.6    | 赤橙       | 30.1 | 0.47 | 滑         | 中         |

注1) 2015年：12月15日調査 2016年：12月12日調査

注2) 果皮色は色差計を用いて測定

表3 「熊本EC12」の果実品質 (2015～2016年の2ヵ年平均)

| 品種名    | 1果重<br>(g) | 果肉<br>歩合<br>(%) | 糖度<br>(Brix) | クエン酸<br>濃度<br>(%) | 糖酸比  | じょうのう<br>膜の硬さ | 果汁の<br>多少 | 種子数 | クラッキング |
|--------|------------|-----------------|--------------|-------------------|------|---------------|-----------|-----|--------|
|        |            |                 |              |                   |      |               |           |     | 発生     |
| 熊本EC12 | 250.9      | 79.4            | 12.8         | 1.00              | 12.9 | 薄             | やや多       | 少   | 少      |

注) 2015年：12月15日調査 2016年：12月12日調査



図1 「熊本EC12」の果実



図2 「熊本EC12」の着果状況

図3 「熊本EC12」の樹姿

※<来歴>に記載のある交配親については、令和3年3月に本県でDNA鑑定を実施した結果、「熊本EC12」の花粉親が「はるみ」ではなく、「あすみ」であることが明らかになりました。